

芝居・読み語り

作：井上ひさし

出演：佐々木梅治

父と暮せば



「人間のかなしいかったこと、 たのしいかったこと、 それを伝えるんが おまいの仕事じゃろうが」

終戦から3年後の広島

生真面目な娘は心の傷が癒えず、幸せになるのをためらう。
想いを寄せる男性からも身を引こうとする。
そんな姿を見て、お調子者の父は娘の背を押そうとするが…

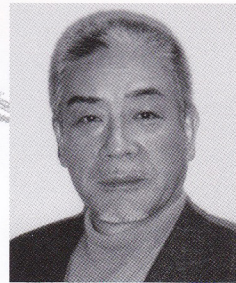
作・井上ひさし

スタッフ

〔企画・構成・演出〕 佐々木梅治

〔宣伝美術〕 梶井美由紀

〔制作〕 梅治の会



佐々木 梅治
umeji sasaki

北海道置戸町生まれ。立命館大学卒業。
1973年劇団民藝入団。古典劇から現代劇まで幅広い役を演じている。宇野重吉一座の九州公演中、宇野の代役で14回「三年寝太郎」を務める。「夜明け前」「子午線の祀り」「山神様のおくりもの」など、外部出演も多数。特に2003年から取り組んでいる井上ひさし作「父と暮せば」の一人語りは、まもなく200ステージを迎える。
その他声優としても「チャングムの誓い」(トックおじさん)、「コールドケース」(ボス)、「パイレーツ・オブ・カリビアン」(奇皇后(ヨンチョル丞相))、「仮面の王・イソノ」(ウ・ポ)にレギュラー出演するなど、役柄によって多彩な声を聞かせている。

初演以来評判を呼び、
口コミにて全国から
公演依頼殺到！

ご希望があれば
全国どこへでも
参ります。

お問合せ『梅治の会』TEL&FAX:03-5261-1489